



関西国際空港がスカイトラックスの国際空港評価 2 部門で世界 1 位に！ 手荷物取り扱い部門では 4 年連続の 1 位受賞！

関西エアポート株式会社は、イギリスに拠点を置く航空サービスリサーチ会社、スカイトラックス社が、世界の 550 空港を対象に実施した国際空港評価「ワールド・エアポート・アワード 2018[※]」において、関西国際空港が「ベスト・ローコスト・ターミナル 2018」「ベスト・バゲッジ・デリバリー 2018」の 2 部門で第 1 位を受賞したことをお知らせいたします。

○「ベスト・ローコスト・ターミナル 2018」

本賞は、LCC 利用に特化したターミナルが評価対象で、関西国際空港は 2015 年にも同賞を受賞しています。2012 年 10 月に日本初の LCC 専用ターミナルビルとしてオープンした第 2 ターミナルビルは、2017 年 1 月に国際線部分を拡張オープンし、日本の空港で初めてスマートセキュリティシステムやウォークスルー型の免税店舗を導入しています。高機能トイレを配置するなど、シンプルな中にも意匠を凝らした、お客様にとってストレスフリーで快適な空間が評価につながったと考えています。

○「ベスト・バゲッジ・デリバリー 2018」

本賞は、手荷物受け取りまでの待ち時間、手荷物受け渡しの効率、ロスバゲッジの対応などが評価対象で、関西国際空港は 2015 年から 4 年連続で受賞しています。関西国際空港で先進的に導入しているバゲッジ・ハンドリング・システムや、航空会社、グランドハンドリング会社をはじめとする全空港関係者のチームワークと日々の努力の結果が、開港以来関西国際空港が起因となるロスバゲッジがゼロであることや手荷物の丁寧な取り扱いなど、このたびの評価につながったと考えています。

関西エアポート株式会社の代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノントは、3 月 21 日に開催された授賞式に参加し、「お客様の声をもとに評価される本アワードにおいて、2 つの名誉ある賞を受賞できたことを大変光栄に思っております。全空港スタッフのチームワークと惜しみない努力に感謝するとともに、これからもお客様のご期待を上回るサービスと新しい旅の体験を提供するため、全空港関係者一丸となってチャレンジを続けてまいります。」と述べています。

関西エアポート株式会社は、引き続き、空港を利用されるお客様が快適で楽しい時間を過ごせるような環境づくりを進め、新しい旅の体験を創造してまいります。

■「ベスト・ローコスト・ターミナル 2018」

- 1 位 関西国際空港（日本）
- 2 位 成田国際空港（日本）
- 3 位 メルボルン空港（オーストラリア）

■「ベスト・バゲッジ・デリバリー 2018」

- 1 位 関西国際空港（日本）
- 2 位 東京国際空港（羽田空港）（日本）
- 3 位 仁川国際空港（韓国）



授賞式の様子

写真左：代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント

写真右：専務執行役員（最高商業責任者（航空担当）） グレゴリー・ジャメ

※ワールド・エアポート・アワード 2018

世界の 550 空港を対象に、100 ヶ国・地域の航空旅客から回収した 1300 万件を超えるアンケート結果に基づく満足度調査。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
コーポレートコミュニケーション部
Tel : 072-455-2201

KANSAI AIRPORTS

Shaping a New Journey



関西エアポート株式会社は、関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しました。関西エアポートは、オリックス株式会社とVINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。

関西エアポートは、両空港の安全とセキュリティを常に最優先しつつ、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化し、両空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへ貢献することを目標としています。

関西エアポートは、2015年12月15日付けで新関西国際空港株式会社との間で、事業期間を44年とする「関西国際空港及び大阪国際空港特定空港運営事業等公共施設等運営権実施契約」（実施契約）を締結しています。

詳しくは、関西エアポート株式会社ホームページ：www.kansai-airports.co.jp/をご参照ください。

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	資本金	250億円
代表者	代表取締役社長 山谷 佳之 代表取締役副社長 エマヌエル・ムノント	設立年月日	2015年12月1日
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、 管理受託業務等	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界40カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、35空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル（リスボンのハブ空港含む）、カンボジア、日本、ドミニカ共和国、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で200社を超える航空会社が就航し、2017年の旅客者数は1億5,660万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとして、1万2,000人のスタッフの専門知識と経験を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして既存空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設を行っています。

2017年の連結売上高は14億ユーロ、グループ全体の売上高は32億ユーロ（関連会社含む）に達しました。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社ジェイティービー、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構